

京都市立音楽高等学校の現状等について

京都市立音楽高等学校移転整備事業の実施に伴い、事業への御理解を深めていただくため、民間事業者を対象に、現在、京都市西京区にある京都市立音楽高等学校の施設見学会を、平成18年12月8日(木)及び9日(金)の2日間に実施しました。

施設見学会については、申込のあった事業者ごとに、各諸室の機能や状況についての説明を実施しました。

見学会当日、各事業者から施設状況や使用方法等についての御質問をいただきましたが、これらの御質問を項目整理して、別紙のとおり参考資料として公表します。

京都市立音楽高等学校の施設等に関する質問項目について

分類	番号	項目	現状等
施設	1	生徒の自転車通学の有無及び学校内の駐輪場施設について	生徒の音楽高校への通学手段については、自転車通学を認めており、現在、約20名の生徒が、自転車通学をしています。 なお、駐輪場はグラウンド横に2箇所設置しています
	2	普通教室、ソルフェージュ室等の黒板上部のパイプについて	普通教室等の黒板上部にあるパイプは、「地図掛パイプ」とも呼ばれており、授業時、地図や教材等をつり下げる際に使用します。
	3	生徒用昇降口の位置及び下足箱について	生徒の昇降口は、建物の1階階段横(グラウンド側)に設置しており、校内は二足制としているため、生徒用下足箱を設置しています。
	4	現在の施設において改善を要すると考えられる点について	より良い音楽教育環境のために、ホール及びレッスン室の音の響、静けさの確保、レッスン室の在室者の確認を外部廊下側から把握できることや楽器収納の倉庫設置などの改善の必要性があります。また、屋外運動場については、もう少し広い面積を確保し、語らいの場所等があればとの意見を聞いております。
	5	諸室の前の廊下にある流しについて	通常、学校の廊下等に設置されている流しと同じように、生徒の手洗い、洗面等に使用しています。
	6	レッスン室やソルフェージュ室の防音戸の形状について	レッスン室やソルフェージュ室の出入口戸については、当時の施設設計のレベルで、遮音及び防音を確保するため設置したものです。現在では、防音性能を確保するには、より性能の高いものが考えられます。
	7	建物の中廊下の幅について	教室間の廊下の幅については、建物構成から中廊下となる場合は、十分な通路幅を確保するものとしており、当時の設計レベルとして4mを確保し、また音源を発生する部屋と諸室との離隔をとるための幅としています。
	8	音楽準備室の機能について	音楽科教員の専門指導内容に基づいて、教材研究、授業準備のために使用しており、そのため、ピアノや楽器を演奏する必要があります。また、職員室やCD、DVD等の保管等の諸室としても機能しています。
	9	合奏室(ホール)の緒言及び音響性能について	合奏室(ホール)の平土間部分の天井高さについては、約5.5m、いす席部分については、天井まで、約2mから4.3m程度の高さです。 なお、音響性能については、具体的な数値としては把握していませんが、残響時間、反射音や音圧分布に改善の余地があります。

	10	楽器の収納スペースについて	<p>校内の音楽準備室は、教材作成や指導準備のための部屋として運用しているため、楽器等の収納スペースとしては、使用していません。</p> <p>なお、具体的な楽器収納スペースは、3階合奏室(ホール)の奥にあります。機能的に十分でないため、合奏室(ホール)のフロアや、安全性を確保したうえで、3階の廊下スペースにも置いています。</p>
設備	11	現在の音楽高校の空調設備について	空調設備は、空気熱源ヒートポンプ式チラーユニット方式として、冷暖房を行っています。
備品	12	レッスン室、ソルフェージュ室等のピアノの大きさについて	ピアノについては、ほとんどがY社製の88鍵のグランドピアノです。またホールにあるピアノは、コンサートグランドピアノです。
	13	学校が所有・管理している楽器の種類について	<p>音楽高校が所有する主要な楽器については、参考資料の別紙を参照して下さい。</p> <p>なお、楽器の寸法については、楽器カタログ等を参考として下さい。</p>
	14	各教室に置いてある備品の移転について	現時点では、普通教室のPC、書類ロッカーが考えられますが、具体的な備品等の移転については、今後、移転するものを整理します。
運営	16	図書室(1階)の利用方法について	図書室については、常時開館をしており、生徒が利用しています。また図書の貸出もしています。
	17	学校の正門の開門及び閉門の時間について	<p>通常、午前7時30分頃から午後7時頃まで、開門をしています。</p> <p>なお、玄関には、セキュリティのため、監視用テレビカメラを設置しています。</p>
	18	合奏室(ホール)の使用頻度について	合奏室(ホール)については、小コンサート、公開レッスン等での使用や授業(実技指導)、校外のコンサートに向けた練習、コンクール出場のための録音使用、また、入学式や卒業式などの式典会場、文化祭、生徒集会、保護者会や学校説明会の会場として、非常に高い頻度で使用しています。
	19	合奏室(ホール)の音響設備及び照明設備等の操作について	合奏室(ホール)の音響設備及び照明設備等の操作については、音楽科担当の専任教師が主に操作をしています。
	20	休業期間中の生徒の補習等について	<p>平成18年度の休業期間については、夏季休業7月21日から8月25日、冬期休業12月21日から翌年1月8日、春季休業3月21日から4月8日までの期間としています。</p> <p>なお、休業期間中の生徒の補習については、全校生徒対象にした普通教科、専攻のレッスン、ソルフェージュ(視唱及び聴音)などを実施しています。</p>

21	休業期間中の補習以外，土曜日，日曜日及び祝日の生徒の登校等について	実技レッスン，自主練習や部活動（金管アンサンブル，木管アンサンブル，オーケストラ），また演奏会出演のための練習などのため登校する場合があります。
22	体育授業のスポーツ種目について	生徒の球技種目として，バレーボール，バスケットボール，テニス，卓球（校内）及び持久走等を行っています。
23	体育の授業の主な場所及び雨天時の対応について	体育の授業は，主にグラウンドを使用していますが，年間約30回程度，隣接する京都市立芸術大学の体育館を借用して実施しています。また雨天等により，グラウンドを使用できないときは，1階の廊下を利用して，卓球等を実施しています。
24	習熟度別授業の実施の教室について	習熟度別授業については，1クラスを2つに別けて，他学年の教室やソルフェージュ教室で実施しています。
25	各学年の授業の時間割について	各授業時間割については，年度毎に変動するため，各学年の教科別履修時間数については，音楽高校の「平成19年度学校案内」を参考として下さい。
26	生徒の実技レッスンの時間割について	レッスン室の使用時間と室数との関係から，生徒は，空き時間が生じる場合がありますが，その場合は，レッスンに該当しない生徒は自習となります。
27	授業時間終了後の生徒の自主練習の可否について	授業終了後に，生徒が自主練習をおこなうことについては，認めています。
28	生徒の個人練習の場所について	生徒の個人練習は，原則として，レッスン室及びその他の諸室で行っています。また，楽器や人数によっては，音楽ホールで行います。
29	室外（ベランダ，クラウンドなど）での楽器練習について	周辺に民家が近接していない立地条件もあり，レッスン室等が使用できず，やむを得ない場合には，ベランダ又はグラウンドで，管楽器などの練習をする場合があります。ただし，屋上への出入りは，安全面から禁止としている
30	生徒の昼食の確保等について	校内には，食堂施設はありません。基本的には，生徒各自が弁当を持参するものとしており，隣接する京都市立芸術大学の食堂で昼食を摂ることについては認めています。

京都市立音楽高等学校が所有する主要な楽器一覧 (台数)	
グランドピアノ (39)	ファゴット(1)
アップライトピアノ (1)	コントラファゴット (1)
ピッコロフルート (3)	アルトサクソフォーン (1)
フルート (1)	トランペット(C管) (1)
アルトフルート (1)	ロータリートランペット(C管) (1)
パスフルート (1)	ロータリートランペット(B管) (1)
チャーチオルガン (1)	マリンバ (3)
イングリッシュホルン (2)	チェンバロ (2)
クラリネット(A管) (3)	アルトトロンボーン(1)
ヴィオラ (8)	ドラムセット (1)
チェロ (1)	チャイム (1)
コントラバス (4)	グロッケンシュピール (1)
ティンパニー (2セット)	エイトタム (1)
バスドラム (2)	ゴング (1)
クラリネット(E管) (1)	スネアドラム (1)
クラリネット(B管) (1)	フリューゲルホルン (2)
ホルネット (1)	チェレスタ (1)
ヴィブラフォン (1)	エレクトーン (1)